

## コンクリートの日 in HOKKAIDO 出前講座

### 大学から実務者へ～技術情報の発信と情報交換～ 【開催報告】

担当幹事：深瀬 孝之  
河田 義郎

去る平成 30 年 9 月 27 日に、今年度の出前講座を室蘭工業大学において開催いたしました。

土木学会北海道支部，日本建築学会北海道支部，北海道生コンクリート工業組合，北海道土木技術会 コンクリート研究委員会の 4 団体から後援を頂き、多くの企業様からの参加を頂いたほか、会場となった室蘭工業大学から多数の学生の参加者も受講されました。

ご講演頂きました足立先生、渡辺先生をはじめ、関係者の皆様からの多大なご協力を賜り、本年度の出前講座を盛況に終えることができました。

日 時：平成 30 年 9 月 27 日（木） 15：00～17：00

場 所：室蘭工業大学 教育・研究 1 号館 A333 教室（室蘭市水元町 27-1）

#### プログラム：

- |             |                                     |             |          |
|-------------|-------------------------------------|-------------|----------|
| 15：00～15：05 | 開会の挨拶                               | JCI 北海道支部   | 濱 幸雄支部長  |
| 15：05～15：55 | 「鉄筋コンクリートの変状等をどう捉えるか？～各技術者視点からの再考～」 | 北海学園大学工学部   | 足立 裕介教授  |
| 15：55～16：05 | 休憩                                  |             |          |
| 16：05～16：55 | 「苫小牧高専のモンゴル高専支援事業とモンゴルにおけるセメント事情」   | 苫小牧工業高等専門学校 | 渡辺 暁央准教授 |
| 16：55～17：00 | 閉会の挨拶                               |             |          |

参加者数：62 名（申込者数 44 名／募集数 100 名）

参加費： 無料

#### 講演会風景写真



支部長挨拶



会場の様子

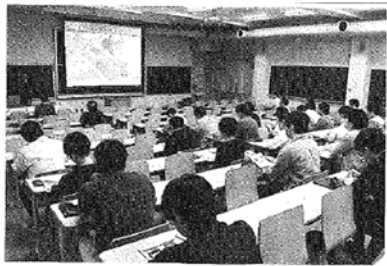


講演① 足立先生



講演② 渡辺先生

メディア掲載(10月1日 北海道建設新聞)



2人の識者がコンクリートやセメントに関する知見を説いた

9月10日のコンクリートの日」にちなんで、自身の手掛けた市内の住宅や、札幌市内の住宅や、C道の共同住宅などの実社会人を中心とした約60名が参加した。

40年を経過した防凍層を

**日本コンクリート工学会北海道支部**

日本コンクリート工学会北海道支部は9月27日、札幌工大で「コンクリートの日 in HOKKAIDO出前講座」を開いた。第1部は、北海道工大工学部の足立裕介教授が「鉄筋コンクリートの劣化などをどう捉えるか」をテーマに講演。第2部は、苫小牧高専の渡辺隆夫教授が「苫小牧高専のモンゴル高専支援事業とモンゴルにおけるセメント事情」をテーマに講演。第3部は、苫小牧高専の渡辺隆夫教授が「日本コンクリート事情」を紹介した。

開いた事例では、アルファ探査により、確認する必要があり、注釈を促した。

渡辺教授は、苫小牧高専のモンゴル高専支援事業を説明。私立モンゴル工科大学の学生選抜、高専モジュールを設けながら、日本企業も卒業研究を行っている。「日本の高専生は、中

**コンクリート題材に講座**

**モンゴルの国内事情も紹介**

開いた事例では、アルファ探査により、確認する必要があり、注釈を促した。

渡辺教授は、苫小牧高専のモンゴル高専支援事業を説明。私立モンゴル工科大学の学生選抜、高専モジュールを設けながら、日本企業も卒業研究を行っている。「日本の高専生は、中

で非常に強い。教員は学生の能力向上のため、かなり丁寧な指導をしている。モンゴルで日本式の高専が扱われるのは、手取り足取りの指導が必要だといふことが教員と話した。

モンゴル国内のセメント事情については、5年ほど前に入国し、割ったが、最近では品質が落ちてきている。旧式の採り方や欧州標準を採用したセメント工場が国内にできたため、セメントの強度や密度、凍害試験分析など、結果としてモンゴルの高専セメントは、日本製よりも若干強度が小さいが、成分はほぼ変わらない」と説明。一方で「11年が